八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて
「こっこめ」とよびます。

こっこめ通信 06 2022

「再開しました！行事報告」号

鬱陶しい梅雨が目の前に迫っていますが、島の自然は今が一番元気な時期ですね。今年は随分遅れてやってきたホトトギスの声も一気に賑やかになってきました。八丈ビジターセンターでもコロナ禍で中止を余儀なくされていた数々の行事が復活し、沢山の方にご参加頂きました。今回はそんな行事の様子を紹介します。　（T.K.）

鳥に関する行事が2回！

まずは４月・５月で行われた「野鳥」に関する行事を紹介します。「４月の鳥」は毎年恒例の八丈学講座「さえずりを聞き分けよう」、「５月の鳥」は愛鳥週間に合わせて行った「いっしょに作ろう！」シリーズで「パタパタバードを作ろう」を開催、その様子を担当スタッフが紹介します。　（M.K.）

八丈学講座「さえずりを聞き分けよう」　５月23日（土）開催　７名参加



ホタル水路周辺で開催した「さえずりを聞き分けよう」は、さえずりを聞き「この声はこの鳥だ！」と判るようになることが最終目標です。

鳥のさえずりを聞き、耳を慣らせて出発しましたが、この日はさえずっている鳥が少なくガッカリ。それでも鴨川で休んでいたゴイサギやアオアシシギ、タカブシギをじっくり観察することができました。

最終的に聞こえたさえずりは、ヒヨドリ、ウグイス、キジバト、イイジマムシクイ、シジュウカラ、カラスバト、タネコマドリ、ハシブトガラス、オーストンヤマガラ、アカコッコの 10 種類。

タネコマドリは１度だけしか聞こえず、モスケミソサザイは全く聞こえずに残念でした。でも、１種類だけでもさえずりだけで「あっ！あの鳥だ！」と思えるようになって頂けたなら幸いです。　（M.K.）

いっしょに作ろう！「パタパタバードを作ろう」　５月16日（月）開催　３組６名参加



昨年の 12 月以来、5 ヶ月ぶりの「いっしょに作ろう！」の開催となり、私たちもワクワクドキドキでした。

いっしょに作ろうシリーズは、『小さくても八丈島の豊かな自然に興味を持ってもらい、小さなお子さんと保護者の方との親睦も図れたらいいな』とスタッフの熱い想いからシリーズ化した行事です。（不定期開催）

今回も、何か楽しものをいっしょに作りたいと、知恵を絞り、考えて、ちょうど愛鳥週間でもあったので、はばたく鳥「パタパタバード」を作ることになりました。

ちょっと難しい工程もありましたが、どの子も保護者の方と協力して挑戦していました。

出来上がって、パタパタと羽ばたかせた時の子供達の顔は、キラキラしてとても可愛らしかったです。でも、毎回思うことですが、私たちスタッフも皆の笑顔に幸せな気持になっているんです。　（M.K.）

「アカコッコ」は日本固有のヒタキ科（旧ツグミ科）の鳥で、国の天然記念物に指定されています。
八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

ゴールデンウィークは特別行事

３年ぶりに開催が決定したゴールデンウィーク特別行事（体験八丈太鼓は年末年始にも開催できました）。それだけに担当スタッフもワクワクして迎えたゴールデンウィークでした。（各５月３日・４日・５日開催）

４月２９日の「八丈富士ハイキング」は３名の参加申し込みがありましたが、残念ながら悪天候のため中止となってしまいました。来年は青空の八丈富士に登れるといいですね。

バードウォッチング入門　（計 16 名の参加）



３日間催行されたバードウォッチング入門。３日間とも好天に恵まれ、さわやかな５月の風に吹かれながらの開催となりました。

まず、双眼鏡の使い方や鳥をうまく双眼鏡に入れるコツなどのレクチャーを受け、フィールドに出発です。

みなさんのお目当は「アカコッコ」。

残念ながらアカコッコの出現はありませんでした。ただ遠くの方で鳴いているアカコッコの声だけが聞こえた日もありましたが…。残念！

それでも参加された方々は楽しそうにヒヨドリやキジバトなどを双眼鏡でご覧になっていました。 (M.K.)

５月３日は１２種、５月４日は１０種、５月５日は８種の野鳥に出会うことができました。（鳴き声含む）

特別ガイドウォーク　（計 16 名の参加）



天気が良かったので、午前のバードウッォチング入門と午後の特別ガイドウォークの両方に参加された方が数組いました。それぞれが自然の中を散策できることを楽しんでいるように見えました。時期的に花が終わり実になりかけている頃だったので、色彩豊かな感じではありませんでしたが、今の見頃を探したり不思議に感じたことを皆で考えながら歩きました。

参加者が特に興味深げに見ていたものは、コケむした通路や赤い色の若葉、存在感のあるオオタニワタリ、ゴムノキの気根の太さ、食べるにはまだ早い木の実、世界で八丈にしかないヤブニッケイもち病菌、そして八丈富士と三原山の違いや成り立ちなどでした。

私自身も久しぶりのガイドウォークだったので一緒に楽しみながら進められました。　(M.O.)

体験　八丈太鼓　（計 66 名の参加）



「体験八丈太鼓」は八丈島に伝わる伝統芸能の一つ、八丈太鼓を体験して頂く行事です。

和太鼓の両面から二人で打ち合う八丈太鼓は、お互いの息が合うと非常に気持ちが良いのでハマってしまう人も多く、島にはいくつもの愛好会がある程です。

ビジターセンターの体験教室では、解説員が一定のリズムを刻む下拍子を打ち、参加者には自由に叩く上拍子を打ってもらいます。

今回の行事では最初からノリが良く楽しんで打ってくれる参加者の方が多く、下拍子を担当した解説員も一緒に楽しむ事ができました。

比較的空いている時間帯に参加された方で興味のある方には、八丈太鼓の代表的なフレーズの紹介やバチの振り方など､少し細かい指導も行いました。　(T.K.)

後半はお天気に恵まれ、すべての行事を開催できホッとしました。また来年も開催できることを願って止みません。（M.K.）

八丈植物公園季節調査会の報告

「八丈植物公園季節調査会」は今年度から内容を若干変更しました。植物公園をA.B.C. 3つのコースに分け、各コースを年間で4回づつ歩いて自然の季節変化を調査します。またそれぞれのコースには毎回必ず観察する植物を設定し定点観察することで、より季節変化が分かりやすくなるよう工夫しています。二回目の5月8日は主に植物公園の中央を巡るBコースを調査しました。※各コースの詳細は次号でご紹介します。

八丈植物公園季節調査（2022 年度第 2 回）参加者：川畑 , VC 菊池 , 木下

NO.	和名 （島名）	状態
①ソテツの築山南側		
1	モチノキ雌木	若い実
②芝生広場		
2	スダジイ	新葉
3	ヤマモモ雌木	若い実
③砂場遊戯車道		
	ホルトノキ	
④日本の森サクラ広場		
4	ヤブニッケイ	蕾
5	タブノキ	若い実
⑤日本の森アジサイ山		
	ミツバアケビ	
⑥車道		
	シマモクセイ雄木	
⑦車道		
	イヌマキ雌木	
⑧メタセコイア植栽地		
	ヤマモモ雄木	
⑨世界の森		
6	イヌマキ雄木	蕾
	モチノキ雄木	
⑩ソテツの築山北側		
7	シマモクセイ雌木	実
8	ハゼノキ雄木	花
9	アオキ	若い実
10	アオノクマタケラン	蕾
11	アカメガシワ	蕾
12	アワゴケ	実
13	イヌガラシ	花と実
14	イヌビワ	実
15	イワニガナ	花
16	ウスベニニガナ	花と実
17	ウラジロチチコグサ	花と実
18	エノキ	実
19	オオシマザクラ	若い実
20	オオニワゼキショウ	花と実
21	オオバコ	実
22	オオムラサキシキブ	蕾

NO.	和名 （島名）	状態
23	オニタビラコ	花と実
24	オランダミミナグサ	実
25	ガクアジサイ	蕾
26	カタバミ	花と実
27	カニツリグサ	花
28	カラスノエンドウ	実
29	キュウリグサ	花と実
30	キランソウ	花
31	クサイ	蕾
32	コケミズ	実
33	コケリンドウ	花
34	コナスビ	花
35	コマツヨイグサ	花と実
36	コメツブツメクサ	花
37	コモチマンネングサ	花
38	シチトウスミレ	閉鎖花
39	シマササバラン	蕾
40	シラスゲ	実
41	シロツメクサ	花
42	セイヨタンポポ	花と実
43	タイミンタチバナ	蕾
44	チガヤ	花
45	チチコグサ	花
46	ツメクサ	花
47	テイカカズラ	蕾
48	トウバナ	花と実
49	トキワツユクサ	花
50	ドクダミ	蕾
51	トベラ	若い実
52	ナギナタガヤ	花
53	ニワゼキショウ	花と実
54	ヌカススキ	実
55	ヌカボ	花
56	ハチジョウイボタ	蕾
57	ハチジョウキブシ	若い実
58	ハナヌカススキ	実
59	ハハコグサ	花
60	ハルジオン	花

NO.	和名 （島名）	状態
61	ヒナギキョウ	花と実
62	ヒメコバンソウ	実
63	ヒメユズリハ	花
64	ヒメヨツバムグラ	花と実
65	フウトウカズラ	花
66	マツバウンラン	花
67	ムラサキカタバミ	花
68	ヤエムグラ	花と実
69	ヤツデ	新葉
70	ヤマヌカボ	実
シダ植物		
1	イシカグマ	新葉
2	ウチワゴケ	
3	オオイタチシダ	新葉
4	オオオタニワタリ	新葉
5	オニヤブソテツ	新葉
6	カニクサ	
7	スギナ	
8	タチクラマゴケ	胞子葉
9	タチシノブ	胞子葉
10	タマシダ	
11	トラノオシダ	新葉
12	ナチシケシダ	
13	ノキシノブ	
14	ハチジョウカナワラビ	
15	ハチジョウシダ	
16	ハマハナヤスリ	栄養葉
17	ヒトツバ	
18	ホシダ	
19	ホラシノブ	
20	マツバラン	
21	マメヅタ	
22	ミゾシダ	

今回はシダ植物 22 種を含む 92 種の植物を観察しました。野鳥ではシチトウメジロとカラスバトが盛んにさえずり、昆虫では今シーズン初めてリュウキュウツヤハナムグリを観察しました。

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、以前にも紹介した「ガクアジサイ」の変わり者にスポットを当ててみたいと思います。



ガクアジサイ　*Hydrangea macrophylla* f. *normalis*

写真は八丈島に自生するガクアジサイの中から選抜された園芸品種の「八丈千鳥」です。八丈島では他にも変わったガクアジサイが知られていますが、何れも品種登録するまでには至っていないようです。

両性花の殆どが額を形作る装飾花と同じになってしまったものなどはほとんど西洋アジサイのように見えますが、葉の艶や花房の形などが異なるので見慣れればそれと判ります。

これからしばらくの間はガクアジサイの開花最盛期なので、注意して歩けばアッと驚くような変わり者に出会えるかもしれません。

そんな梅雨時の楽しみ方があっても良いかと・・・。　(T.K.)

2022 八丈ビジターセンター プログラムカレンダー

6

日付の下に書かれている時刻は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時刻です。
また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
この色の日は ガイドウォークや 特別行事があります			1 05：05 19：09 12：01	2 05：34 19：44 00：16 12：35	芒種 3 06：04 20：22 00：47 13：10	4 ガイドウォーク 06：35 21：02 01：20 13：48
5 ガイドウォーク 植物公園季節調査会 07：09 21：48 02：00 14：29	◐ 6 07：52 22：39 02：53 15：16	7 08：58 23：33 04：12 16：13	8 10：46 05：48 17：21	9 00：24 12：42 07：01 18：33	10 01：09 14：10 07：53 19：41	11 ガイドウォーク 01：51 15：19 08：38 20：41
12 ガイドウォーク 02：28 16：19 09：21 21：35	○ 13 03：06 17：14 10：04 22：25	14 03：44 18：07 10：48 23：11	15 04：24 18：59 11：33 23：56	16 05：06 19：49 12：20	17 05：51 20：37 00：41 13：07	夏至 18 ガイドウォーク 06：38 21：24 01：28 13：55
19 ガイドウォーク 07：30 22：08 02：21 14：43	◑ 20 08：31 22：50 03：23 15：31	21 09：51 23：21 04：39 16：23	22 11：39 05：58 17：21	23 00：12 13：30 07：07 18：30	24 00：55 14：56 08：01 19：41	25 ガイドウォーク 八丈学講座 「海浜植物観察会」 01：39 15：56 08：46 20：46
26 ガイドウォーク 02：21 16：41 09：25 21：40	27 03：02 17：19 10：02 22：24	● 28 03：40 17：54 10：38 23：02	29 04：16 18：26 11：13 23：35	30 04：50 18：58 11：48		

イベントプログラム

植物公園季節調査会	植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！ 6/12(日)（13：30～15：00） 中学生以上 ビジターセンター集合・解散 無料 定員：10名
八丈学講座 「海浜植物観察会」	毎月行っている八丈学講座。今月は底土海岸周辺の海浜植物を観察します。 6/25(土)（13：30～15：00） 中学生以上 底土海水浴場駐車場 集合・解散 参加費：50円 定員：10名
植物公園ガイドウォーク	解説員が植物公園内をご案内します。 毎週 土日及び祝日、（10：30～約1時間） だれでも参加できます。 ビジターセンター集合・解散 無料 定員：10名

ビデオプログラム

10：00～ 八丈・海・生きものたち
11：00～ おじゃりやれ 八丈島
14：00～ おじゃりやれ 八丈島
15：00～ おじゃりやれ 八丈島
16：00～ 八丈・海・生きものたち
当面の間は上記のみの上映になります

東京都八丈ビジターセンター 2022.6.1 第253号

開館時間 9：00～16：45 年中無休（入館無料）
〒100-1401
東京都八丈島八丈町大賀郷２８４３
電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888
https://www.tokyo-park.or.jp/park/hachijo/

編集後記

最近八丈島の近海ではイルカの群れが観察されているようです。海鳥とイルカと小魚の群れの壮大なコラボレーションが見られることもあるとか。イルカの群れが島のまわりに定着してくれたら楽しいのですが、どうなるでしょうか？ (T.K.)